

住宅と医院を造る

住宅と医院の仕事で同時に設計を進め工事も同様でしたのでかなりハードな仕事でした。設計監理のため新幹線で行き来をし、帰りは終電近い時刻に乗り疲労困憊の時もたびたびあったことを思い出します。

敷地は500坪ほどで矩形の敷地。南北側に道路がありましたが、中央の庭を挟んで北側に住宅を、南側には医院を配置しました。東西に長く幅のある敷地なので東側をパブリックゾーンとし、中央のエントランスとホールを介して西側をファミリーゾーンとしています。



東側のゾーンは医師であるご主人の主に休息の為のスペースとして設けました。地震が起こるとの報道から対策として計画したのですが、その一角に趣味である大事な品を納めるための収納庫をRC造で造っています。このゾーンは、北側に10帖の和室と南側にリビングを設置しています。

西側のリビングにダイニングテーブルを置いて、家族の方が好きだという焼肉のコンロを組み込み、排煙のためのフードを上部に設置。その中にボールタイプの電球を配置しました。西側のリビングの奥に洗面所、浴室と寝室、そして2階に子供室を設けてあります。

この家はの雰囲気は、ご主人のライフスタイルが和風を好まれていることから和風のデザインをベースにし、屋根はむくりを付け燻銀の瓦を使っています。内部は、和室を除いて漆喰塗の大壁仕上げとしています。

医院は平屋立てのRC造で外壁はタイル張りとし、内外はシンプルなデザインとしています。

この計画のプランと外観のパースは奥村先生が基本を制作し、全体は私が設計監理を担当しました。

このパースは和風の家ということから墨絵調で描かれていますが、

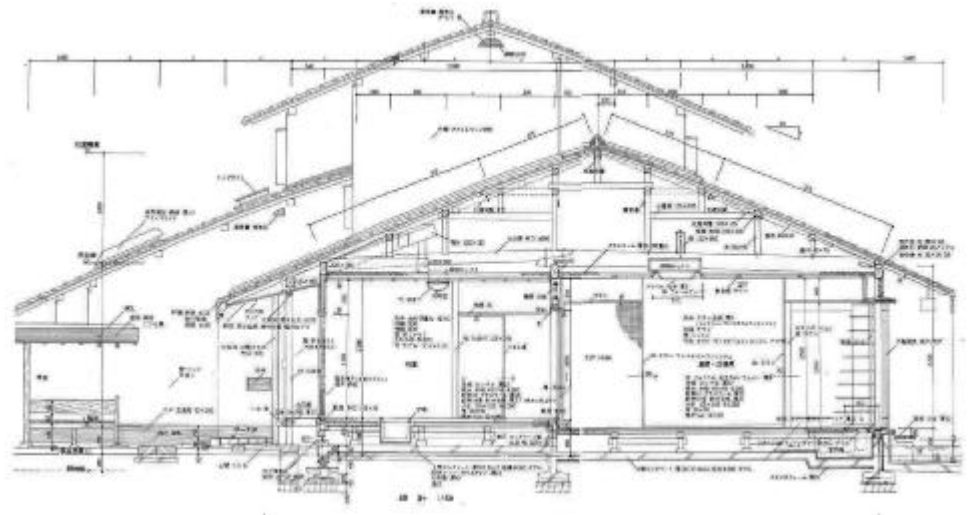
普段のパースは色鉛筆仕上げが多かったです。



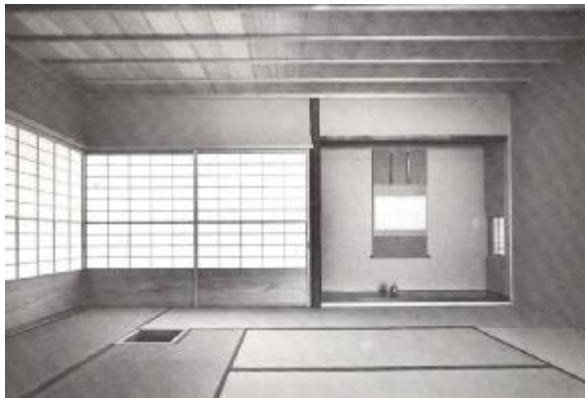
南側外観



玄関前路地



パブリックゾーン (和室・リビング) 矩計図



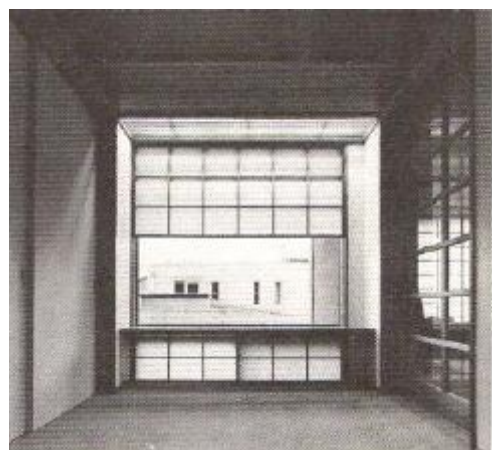
10畳の和室
ング



東側のリビ



西側のリビング



玄関ホール



医院

※図面とモノクロ写真はディテール'67より、配置図は、ニューハウスより 医院の
写真は、医院建築 no.2より

2021.10.6